



経験・知識を生かして 仕事に、もう「工夫」を

朝の9時を過ぎた頃だったろうか。大きなトラックが同センター事務所のある『豊中市役所別館』に横付けした。後部のリヤドアが開き、現れたのは山積みされた紙面の束、『oh-まちかね』最新号だ。「配送」担当の会員を中心に荷下ろしが始まった。

一束100部包装の束をプラットフォームから一つひとつ台車へと移す。すっかり重くなった台車を押し、配送車へ運ぶと、またすぐに残りの束を取りにトラックへ。この作業を何回も繰り返し、「配布（ポスト投函）」担当の会員の自宅へと届けられていく。

「この仕事、もの凄いいんどいですが、でも僕、しんどい仕事が好きでね。その方が体力がつく。そう話す右田信文さんは、6月から「配送」に従事している。配送先の経路や注意事項などの細かな情報を、自らパソコンを使って表にまとめ、滞りなく配送が完了するよう工夫。配達先の条件は様々で、何十束もの紙面を運ぶには困難な、エレベーターの無いマンションもある。そこで、大工だった経験を生かして背負子を作った。効率良く「配布」担当の会員のもとへ紙面を届けられるのだそうだ。「昔の仕事も段取り七分、仕事三分と言われていましたから、段取りを大切に、使命感を持ってやっています」（右田さん）。



現在、「女性部会」の活動として第2・4月曜に「編み物教室」、第2・4火曜には「布小物製作講習会」を各500円で開催。腕に縫をかけたパッチワーク・編み物作品は、「刃物研ぎ（同センターが駐車場で3カ月毎に開催しているイベント）」と同時に開催する展示販売会に出品することも。展示販売会は12月6日（火）10:00～15:00開催予定



現在、「女性部会」の活動として第2・4月曜に「編み物教室」、第2・4火曜には「布小物製作講習会」を各500円で開催。腕に縫をかけたパッチワーク・編み物作品は、「刃物研ぎ（同センターが駐車場で3カ月毎に開催しているイベント）」と同時に開催する展示販売会に出品することも。展示販売会は12月6日（火）10:00～15:00開催予定

取材協力

公益社団法人
豊中市シルバー人材センター

〒560-0022
豊中市北桜塚 3-1-28
（豊中市役所別館 2F）
TEL：06-6856-1777
FAX：06-6856-2859
http://www.toyonakasjc.or.jp/

趣味、仕事、ボランティア 思い思いの充実した日々を

現在、会員数は約1750名。豊中市の60歳以上の人口の1.4%にあたる。今日では、定年を延ばす企業も増えたことから、市民の入会状況の変化はもろろんのこと、働き方・働く目的も多様化している。「社会に貢献したい」、「働いていたい」、「仲間を作りたい」、「同好会に入りたい」、「生活費の足しに」、「お小遣い稼ぎに」、「毎日にハリを」……様々な要望に応えるように、同センターには豊富な就業案件だけでなく11の同好会や「女性部会」の講習会もある。今回出会った会員の皆さんは、やりがい、居場所、楽しさ、それぞれ求めるものを自分のペースで満喫し、充実した日々を送っているように思える。ほとんどの、いきいきしていたから。



植木の剪定

同センターの独自事業として、第2・4週の日・土曜に「岡岡・桜塚商店街」内の「桜塚ショッピングセンター」2Fで「リサイクルショップ リソニス」を開店。「会話を楽しみながら買い物ができる」と、リピーターや、長時間滞在する人も多いのだとか（右）

リサイクルショップ・リソニス

定年退職後も地域で活躍 仕事で健康と生きがいを

「生涯現役」。高齢化が急速に進むなか、定年等で退職した後も、就業を希望する高齢者が増えはじめた昭和50年、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、「シルバー人材センター」の先駆けとなる『高齢者事業団』が東京都で創設された。昭和55年になると国の補助事業として、全国的に事業展開され、「シルバー人材センター」の設立が急速に全国の市町村へと広がっていった。そして翌年の6月、「社団法人（平成24年より公益社団法人へ移行）豊中市シルバー人材センター」が設立された。臨時的・短期的・軽易とされる業務を、事業所だけでなく一般家庭や行政機関からも受注し、会員（60歳以上の豊中市民）に提供している。同センターでは、「経理事務」、「受付事務」、「賞状書き」、「植木の剪定」、「公園清掃」、「除草」、「建物内・外の清掃」、「営繕・修理」、「家事サービス」、「子育て支援」、「駐車場の自転車整理」、「駐車場の管理」、「チラシ配布」といった、多岐にわたる業務を請け負っている。小誌の「配布」もその一つだ。

植木の剪定は、定期的な講習を受けた「植木剪定講習会」にて講習を受けた会員のみが従事できる（左）